

## 記者発表資料

**首都国道事務所発注工事において、「見積活用方式」及び「間接工事費実績変更方式」を試行し、「施工箇所が点在する積算方法」及び「難工事指定」、「余裕期間制度」を採用します。**

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R2国道357号浦安市川地区（海側）他道路改良工事」について、別紙のとおり不調・不落対策を試行及び採用します。

### ① 「見積活用方式」

本工事は、市街地であり現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながら狭隘な作業ヤード内での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

### ② 「施工箇所が点在する積算方法」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所が発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

### ③ 「間接工事費実績変更方式」

本工事は、運搬費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

### ④ 「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

### ⑤ 「余裕期間制度」

発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる「余裕期間制度」を採用します。

## 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会、市川市政記者クラブ

## 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

電話 047-362-4111（代表）

副所長 ますだ 増田 よしとち 善智 工務課長 いとう 伊藤 ひとし 仁

《工事概要》

(1) 工事名：R2国道357号浦安市川地区（海側）他道路改良工事

(2) 工事場所：【浦安地区】白）千葉県浦安市弁天4丁目  
うらやすしべんてん  
みはま  
至）千葉県浦安市美浜2丁目

いちかわしおはま  
【市川地区】千葉県市川市塩浜3丁目地先

こうとうくしんきば  
【新木場地区】東京都江東区新木場1丁目地先

(3) 工期：契約締結の翌日から令和3年9月30日（木）まで

(4) 入札方式：総合評価落札方式（施工能力評価型Ⅱ型）

(5) 工事種別：一般土木工事B+C

(6) 工事内容（概要）：【浦安地区、市川地区】

道路土工	1式
路床安定処理工	約15,000m <sup>2</sup>
下層路盤	約15,000m <sup>2</sup>
上層路盤	約15,000m <sup>2</sup>
構造物撤去工	1式

【新木場地区】

道路土工	1式
舗装工	約1,250m <sup>2</sup>
排水構造物工	1式
縁石工	約40m
防護柵工	約270m
マンホール蓋交換	5箇所

《見積活用方式について》

○見積の提出を求める工種

- ・直接工事費のうち、「路床安定処理工」

○見積の提出を求める理由

施工箇所は、供用中の首都高速道路と国道357号に挟まれた狭隘な箇所であり、国道357号の交通量は約7万台/日と多く、沿道状況は住宅、工場等が連担している箇所です。

施工にあたっては、狭隘な作業ヤード内での施工とならざるをえず、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じると考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《施工箇所が点在する積算について》

本工事は施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

《間接工事費実績変更方式について》

○実績により変更を行う工種

- ・ 共通仮設費（率分）のうち、運搬費

○実績により変更を行う理由

本工事箇所は、供用中の首都高速道路と国道357号に挟まれた狭隘な箇所であり、国道357号の交通量は約7万台/日と多く、沿道状況は住宅、工場等が連坦している箇所です。

このため、運搬費については、施工箇所が狭隘な箇所であり、作業スペースの確保が困難であり、その都度資機材の搬入が必要となるため、運搬費において標準積算と乖離が想定されます。

以上の点より、間接工事費実績変更方式の対象項目として「運搬費」を対象とします。

《難工事指定》

本工事は、施工箇所が狭隘な箇所であり、作業スペースの確保が困難であること、点在している工区の工程調整を要するため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加対象となります。

《余裕期間制度》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和3年9月30日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書、見積依頼書 交付	： 令和3年 1月15日（金）
○競争参加資格確認申請書、見積書 提出期限	： 令和3年 1月29日（金）
○入札書・工事費内訳書 提出期限	： 令和3年 2月26日（金）
○開札日	： 令和3年 3月 3日（水）